

第1回理事会

日 時：令和8年5月16日（土）15：55～17：20

場 所：オフィス東京 3階 T3 会議室

出席者：（理事長）友 雅司，（理事）繪本正憲，
小川智也，菅野義彦，菊地 勘，倉賀野隆裕，
小岩文彦，酒井 謙，鶴屋和彦，長沼俊秀，
中野敏昭，西尾妙織，花房規男，平和伸仁，
正木崇生，米田龍生，脇野 修 以上17名（理事
現在数22名）
（監事）小川哲也
（幹事）名波正義（第71回幹事），
田蒔昌憲（第72回幹事）
（事務局）坂入幸雄，小島吉晴

議事に先立ち、友 雅司理事長から挨拶があり、以下の議事が進められた。

議 事

1. 議事録署名人の選出

友 雅司理事長から、小川哲也監事が議事録署名人として指名され、全会一致で承認され、議事録作成人として名波正義幹事、田蒔昌憲幹事が指名され、全会一致で承認された。

2. 入退会に関する件

倉賀野隆裕総務委員長から、2026年3月27日～2026年5月16日までの入会、退会、復会の申込数について説明があった。

正会員入会申込128名、退会126名、休会7名、復会5名、喪失退会0名、復会5名、名誉会員2名、施設会員入会8施設、退会35施設、喪失退会0施設、その結果、2026年5月16日現在の会員数は、正会員14,230名（休会127名）、施設会員4,140施設、賛助会員51団体であることが報告され、全会一致で承認された。

3. 日本透析医学会定款施行細則第10条第2項に基づく推薦幹事候補者の推薦に関する件

友 雅司理事長から、本学会定款および定款施行細則には推薦幹事として2名の女性理事候補者を推薦し、6月18日開催予定の臨時総会で承認を得る必要があり、西尾妙織評議員と林 香評議員の2名を推薦することの提案があり、審議の結果、全会一致で承認され、6月18日開催の臨時総会に諮ることとした。

4. 役員選任に伴う選挙立会人候補者の指名に関する件

友 雅司理事長から、新役員選挙要項第4項に理事

会において選挙立会人候補者2名（本学会正会員）を指名して、総会の承認を得る必要があり、名波正義正会員と田蒔昌憲正会員を推薦することの提案があり、審議の結果、全会一致で承認され、臨時総会に諮ることとした。

5. 令和8年度日本透析医学会賞（木本賞）・奨励賞の選考に関する件

脇野 修学術委員長から、資料に基づき学会賞（木本賞）候補者として、小川哲也（東京女子医科大学附属足立医療センター内科）と、奨励賞候補者として小坂志保（東邦大学看護学部看護学科）、中島章雄（東京慈恵会医科大学附属病院腎臓・高血圧内科）の2名について選考経過等の説明があり、審議の結果、全会一致で承認された。

6. 令和8年度コメディカルスタッフ研究助成に関する件

脇野 修学術委員長から、資料に基づき、コメディカルスタッフ研究助成基金運営委員会が検討した結果、小野淳一（川崎医療福祉大学医療技術学部臨床工学科）、千葉裕基（北海道大学病院）、中井浩司（中部大学生命健康科学部臨床工学科）の研究を採択したとの説明があり、審議の結果、全会一致で承認された。

7. 令和7年度事業報告（案）に関する件

友 雅司理事長から、資料に基づき説明があり、審議の結果、全会一致で承認され、6月18日開催の通常総会に報告することとなった。

8. 令和7年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等に関する件

花房規男財務委員長から、令和8年3月31日現在の資産の合計の報告があった。

また、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間の、経常収益および経常費用の報告があり、審議の結果、全会一致で承認され、6月18日開催の通常総会に諮ることとなった。

9. 令和7年度監事による監査報告に関する件

内田潤次監事から、2025年度事業報告、会計監査および理事の職務執行に関し、監査した結果、正当であった旨の報告があり、審議の結果、全会一致で承認され、通常総会に報告することとなった。

10. 第71回通常総会開催及び臨時総会開催に関する件

友 雅司理事長から、第71回通常総会及び臨時総会開催に伴う通告について説明があり、審議の結果、全会一致で承認された。

11. 第 71 回学術集会・総会開催時の各賞表彰式次第（案）に関する件

友 雅司理事長から、第 71 回学術集会・総会時の各表彰式次第（案）について説明があり、審議の結果、全会一致で承認された。

12. 慢性腎臓病患者に伴う貧血治療ガイドラインに関する件

倉賀野隆裕慢性腎臓病患者に伴う貧血治療ガイドライン改訂ワーキンググループ長から、資料に基づき説明があり、指摘のあった A21 試験に関し説明があった。また、資料に基づき、前回の理事会で意見をいただいた輸血の章を追加した旨の説明があり、審議の結果、全会一致で承認された。

13. 「透析患者における心房細動の管理に関するワーキンググループ」に関する件

脇野 修学術委員長から、本ワーキンググループを設置することについて、4 月 10 日に開催された学術委員会において提案がなされ、審議の結果、常喜信彦先生を委員長としてワーキンググループを設置することが承認されたとの説明があり、審議の結果、全会一致で承認された。

14. 統計調査委員会関連

1) 2025 年度公募研究の審査に関して

- (1) HIF-PH 阻害薬内服中の血液透析患者における貧血・鉄指標と予後の関連（孤杉公啓先生）
- (2) 透析導入患者における血液透析濾過の長期予後に関する全国コホート研究：置換量の用量反応関係の検証（藤倉知行先生）
- (3) 認知症および身体機能低下を伴う透析患者の生命予後における透析モダリティの修飾効果（大久保愛子先生）
- (4) 維持血液透析患者における栄養指導の頻度と全死亡との関連性について（露木智久先生）
- (5) 維持血液透析患者における炭酸カルシウム処方量と心血管死亡・全死亡・大腿骨近位部骨折の関連（吉田輝龍先生）

正木崇生統計調査委員長から、資料に基づき説明があり、審議の結果、全会一致で承認された。

15. 国際学術交流委員会関連

1) 委員会報告の作成に関する件

- (1) Idears for the optimal dialysis efficiency under each country's dialysis environment : Thailand and Japan. - from the International Symposium of the 69 th Annual Meeting of the Japanese Society for Dialysis Therapy 2024 -
- (2) Problems in the selection and treatment of renal replacement therapy in Asian countries

平和伸仁国際学術交流委員長から、資料に基づき説明があり、審議の結果、RRT 誌への投稿については全会一致で承認されたが、一部内容について確認の必要があるとの意見があり、1 週間の期間を設け修正等意見について事務局まで報告することとなった。

16. 腎不全患者における保存的腎臓療法を含む治療法的意思決定支援の実態調査に関する件

酒井 謙常任理事から、資料に基づき説明があり、審議の結果、全会一致で承認された。

17. 第 71 回（令和 8 年）学術集会・総会に関する件

倉賀野隆裕第 71 回会長から、2026 年 6 月 18 日が総会で、学術集会は 6 月 19 日～21 日の間、神戸国際会議場で準備を進めていることの説明があった。

18. 第 72 回（令和 9 年）学術集会・総会に関する件

脇野 修第 72 回会長から、2027 年 5 月 29 日が総会で、学術集会は 5 月 30 日～6 月 1 日の間、東京国際フォーラムで準備を進めていること、テーマを「時代を生き抜くたくましい透析医療」とすることの説明があった。

19. 第 73 回（令和 10 年）学術集会・総会に関する件

正木崇生第 73 回会長から、2028 年 6 月 29 日が総会で、学術集会は 6 月 30 日～7 月 2 日の間、神戸国際会議場他で準備を進めていることの説明があった。

20. その他

1) 学術集会・総会の外国人参加者の参加費に関する件

事務局から、資料に基づき説明があり、審議の結果、全会一致で承認された。

2) 「AI for Science 革新的研究推進事業（ARiSE）（文科省）」応募への協力について

友 雅司理事長から、九州大学農学部が申請する本事業について、日本透析医学会へ協力依頼があったことの説明があり、本学会が本事業への支援と協力することに関し審議した結果、全会一致で承認された。